

ベルフォーラム

Bell Forum

2007
AUTUMN

No.18

地域と職員と共に栄えるチーム



SL山口号 長門峡にて

- 医療最前線：**消化器内科の挑戦**
- 連載：登録医のご紹介
- CLOSE UP：患者相談・地域連携部について
- TOPICS：地域医療懇話会，関西がんチーム医療研究会開催



特別・特定医療法人 生長会

ベルランド総合病院

消化器内科の挑戦



消化器内科部長

あん たついち
安 辰一

Profile

平成 03年 奈良県立大学医学部 卒業
 同 上 第三内科 臨床研修医
 平成 04年 奈良県立五條病院 内科医員
 平成 12年 同 上 内科医長
 平成 13年 奈良県立医科大学 救急科 助手
 平成 14年 医仁会藤本病院 内科医員
 平成 15年 国保中央病院 内科医長
 平成 19年 ベルランド総合病院消化器内科 部長

資格等

日本内科学会 認定医
 日本消化器病学会 専門医・近畿支部評議員
 日本消化器内視鏡学会 指導医・学術評議員
 日本肝臓学会 専門医

当院では、現在7名の常勤スタッフ（安辰一、高木地孝、大浦元、金川美彦、木下輝樹、大倉康志、廣瀬哲）で、消化器疾患の検査と治療を行っています。消化器疾患は、良性・悪性を含め非常に多岐にわたっています。

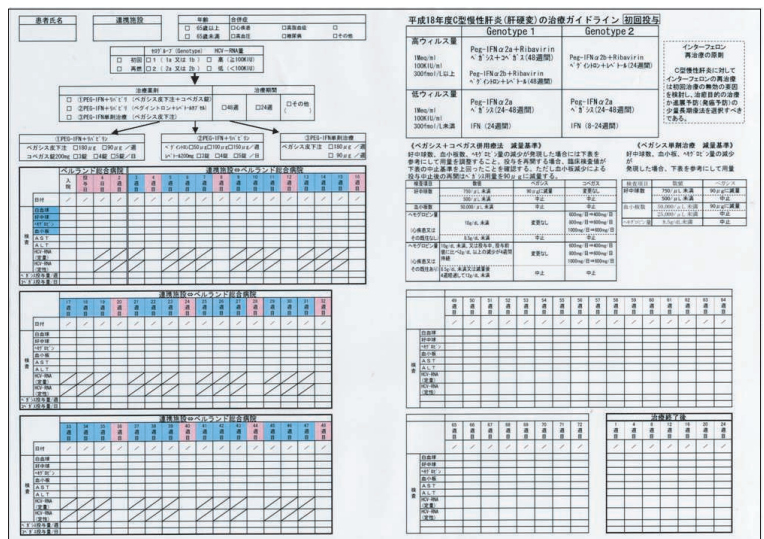
今回は、近隣の連携医の先生方と一緒に作成したC型慢性肝炎患者に対するIFN療法の地域連携クリニカルパスと、当院での消化器内視鏡の実績について紹介させていただきます。

1. C型慢性肝炎に対するIFN療法の地域連携クリニカルパスについて

C型慢性肝炎に対するIFN療法は、現在世界のスタンダードともいえるべきPEG-IFNとRibavirinの併用療法が国内でも認可され、最も難治といわれているジェノタイプ1型の高ウイルス症例においてもウイルス駆除率50~60%と飛躍的に良くなりました。また、いわゆる節目健診においてHCV抗体の測定が行われ、潜在的なC型肝炎ウイルス感染者の掘り出しも行われています。

そこで、当科ではC型慢性肝炎のIFN療法に地域連携クリニカルパス(図1)を用いて、連携医の先生方とともにその治療にあたっていこうと、そのシステムを模索し、本年6月末より試験的に連携パスを運用しています。当科におけるIFN療法導入数は年間17~18例で、本年度は8例(9月現在)ですが、試験的に連携パスの運用を始めてからの約2ヶ月間で7例、内5例で地域連携パスを使用しています(表1)。

図1. C型慢性肝炎のIFN療法地域連携クリニカルパス



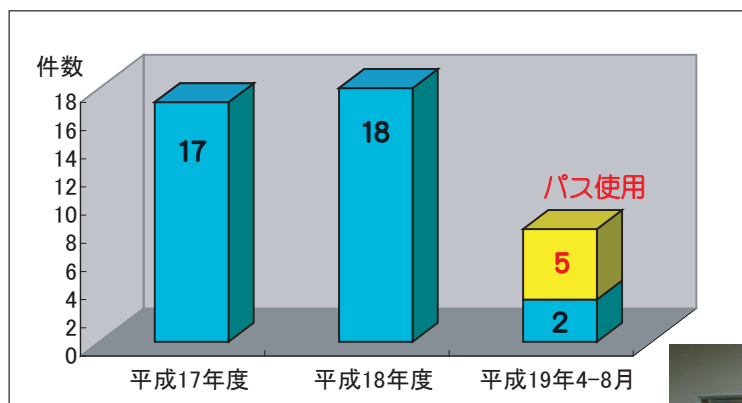


表1. C型慢性肝炎に対するIFN療法

地域連携パス打合せ会議



今後は、IFN連携パスを患者様にとってより良いシステムに随時改変していくと同時に、C型だけでなくB型も含め慢性肝炎から肝硬変、肝癌にいたる患者様のfollowを、地域の開業医の先生方と連携していきたいと考えています。

2. 消化器内視鏡について

現在、当院では上部消化管内視鏡(月曜～土曜；午前)、下部消化管内視鏡(月曜～金曜；午後)、逆行性胆管膵管造影(火曜および木曜；午後)、内視鏡的粘膜切開剥離術(水曜；午後)をルーチンに行い、それ以外の内視鏡的胃瘻造設術や、内視鏡的な静脈瘤治療なども適宜行っております。

しかしながら、ここ数年検査数は増加の一途をたどり(表2)、連携医の先生方から依頼された検査が希望の日に予約できないという苦情もありました。特に、下部消化管内視鏡検査においては、患者様に1ヶ月以上もお待たせすることがありましたが、本年8月から従来の検査枠20件/週(実際は25件以上)を、さらに週あたり11件増やしました。今後とも予約の待ち時間短縮に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年 4～7 月
上部消化管	3,321	3,292	1,073
下部消化管	744	903	299
胆膵	165	173	61

表2. 内視鏡検査件数の年次別推移

さらに、消化器内視鏡の分野においては、様々な機種の開発とともに、新しい内視鏡手技が生まれてきております。今後はそのような最新の手技についても導入していく予定にしています。

今回は、東区北野田にて開業しているらっしゃいます鞆津院長をご紹介します。

診療科目：内科・消化器科

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
17:00～19:00	○	○	○	/	○	/

住所：堺市東区北野田1084番地
 ベルヒル北野田2F メディカルモール
 TEL:(072)-230-1386
 FAX:(072)-230-1387



鞆津院長に聞きました!



ともつ こういち
 鞆津 浩一 先生

Q1. 標榜科は何ですか？

Ans. 標榜科は内科・消化器科です。北野田駅からすぐのベルヒル北野田メディカルモールに今年の4月開業いたしました。

Q2. 医師を目指した動機（きっかけ）は？

Ans. 子供のころから昆虫、プランクトンなどの生物が大好きで生物系の仕事につけたらいいなと思っていました。また、自由業としての医師に憧れました。

Q3. 診察する際に心掛けている事は何ですか？

Ans. 患者さんの目をみて話すこと、怒らないこと、正確な情報を伝えることです。

Q4. 地域医療について

Ans. 個人的な話で申し訳ありませんが北野田は自分の生まれ育った地でありここでお役に立てる事はこのうえない幸せだと思います。これが個人的な「地域医療」です。

Q5. 当院への希望・要望

Ans. 検査予約、入院受け入れ等、大変迅速でありがたいです。CT、MRI等のフィルムについても返却不要で勉強になります。ただし、電子カルテ、画像ファイリングを導入しているクリニックではCDやDVDで画像ファイルをいただければ助かると思います。また、インターフェロン連携パスなど協力させていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

Q6. 最後に一言お願いします

Ans. ベルヒル北野田メディカルモールはベルランド関連施設と思われる方がいらっしゃいますが、実はあまり関係はありません。しかし、よく似た名前でご縁を感じます。現在、他に、くろだ眼科、にしおか整形外科、村上小児科が入っております。当クリニックともどもよろしくお願いいたします。

第11回ベルランド地域医療懇話会

9月29日（土）に「第11回 ベルランド総合病院 地域医療懇話会」を開催致しました。地域医療懇話会は、平素当院との医療連携にご協力いただいている登録医の先生方との交流が最大の目的であり、今回は院外より26名、院内より45名の合計71名の参加をいただきました。

開会にあたりワークショップでは「開業医における診療報酬のフォローアップ」と題し、当院医療情報課重谷より、診療報酬を算定する場合に知っておくと役立つ情報等の発表がありました。



メインテーマは、「切れ目ない地域連携をめざして～当院における地域連携パスの取り組み～」と題し、当院が現在作成している「大腿骨頸部骨折」「前立腺がん」「インターフェロン」の3つの地域連携クリニカルパスについて発表し、会場からは多くの質問が寄せられ活発な会となりました。

途中のコーヒープレイクでは、日頃院内の医師は電話や書面でのやり取りが多く、滅多にお顔を拝見する機会がないこともあり、直接登録医の先生とお話できるということで、非常に有意義なひと時を過ごせました。

今後も、地域連携をより密にすべく、地域医療懇話会を継続していきますので、今後ともよろしく願いいたします。

(地域医療連携室室長 村上 佳代)

新規

登録医のご紹介

平成19年10月1日現在 登録医総数 **221件**

地区名		医療機関名	院長名
北区	中百舌鳥町	梅田皮膚科	梅田 二郎
	北花田町	いこま内科眼科クリニック	生馬 和樹

(区別五十音順・敬称略)

第1回関西がんチーム医療研究会を 開催しました

9月8日に、本会の第1回をベルランド看護助産専門学校講堂で開催いたしました。

わたしたち、がん医療に従事する者として"がん難民"を作らず血の通ったケアを提供するためには横断的なチーム医療が必須であり、精神的にも肉体的にも様々な観点からのサポートが望まれます。本会は、職種の枠を超えて一堂に会し、忌憚のない意見を交換することによって、お互いを高めあえるまたとない場であり、市立堺病院の古河院長の声かけに賛同し発足しました。

手作りの研究会でしたが、念願の第1回関西がんチーム医療研究会を開催させていただき、当番世話人の1人として、ここまでこぎつけられたという達成感とともに、今後の発展に向け一層身の引き締まる思いであります。

第1回の開催会場としてベルランド看護助産専門学校講堂は、多少手狭ではございましたが、スタッフも含め300名近く参加して、遠くは京都大学からも演題発表がありました。



ランチョンセミナーにて 医療安全管理室 楠本室長



活発な質疑応答あり



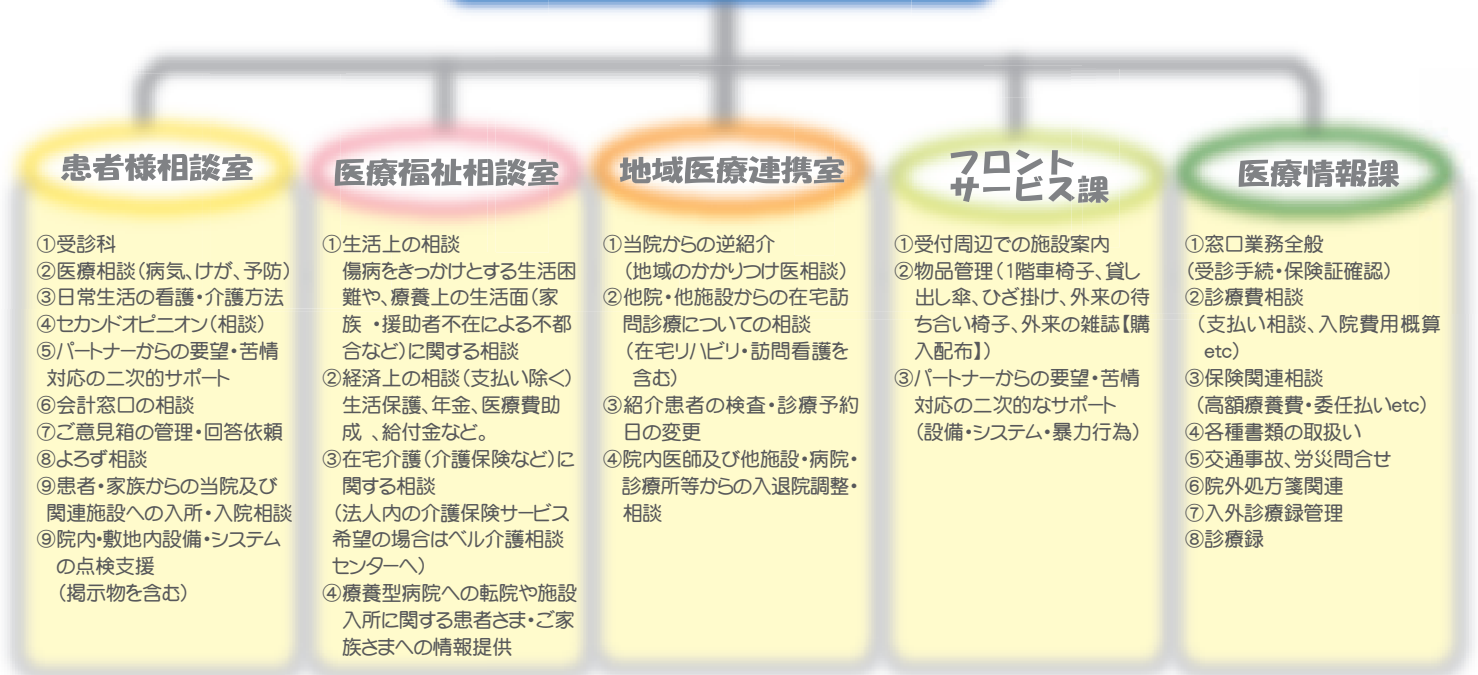
研究会を終えてスタッフと（市立堺病院古河院長を交えて）

また、ランチョンセミナーでは、当院医療安全管理の楠本室長が『がんチーム医療と医療安全管理～医療安全システム構築のための3 Step～』と題して講演し、日頃の多忙な医療業務の中で、安全な医療システムを構築するノウハウを興味深く語ってくれました。当初、早朝9時から夕方5時までの予定でしたが、予定時間を1時間もオーバーするほど熱心な討論がなされ、関心の深さを実感した1日でした。

（副院長 亀山 雅男）

ベルランド総合病院・相談部門のご紹介

総合窓口・交換・各科・病棟 窓 口



「患者様相談室」

当院では、厚労省が義務付けた平成15年よりも3年早く、平成12年に開設しています。苦情や相談は、患者様やご家族に対して適切に対応するとともに、医療機関の安全対策の見直しにも活用されます。
 “よろず相談室”としての患者様相談室が承る件数は近年増加傾向にあり、平成18年度は3,400件でした。クレームやトラブルの原因は、コミュニケーショントラブルが圧倒的に多く8~9割を占めます。

「医療福祉相談室」

様々な傷病にかかられた方は、それに伴い社会的な問題が発生することが多く、また、社会的な問題原因で傷病にかかられる方もおられます。医療福祉相談室ではそのような社会的問題を抱えるパートナーと共に考え、パートナーの自己決定に基づいた問題解決を目指し、日々支援を行なっております。

「地域医療連携室」

地域の病院・開業医・施設との連携を円滑に結ぶための中継役を担う部署です。

「フロントサービス課」

当初、玄関周囲の案内業務が中心でしたが、平成18年度より医療問題(コミュニケーショントラブル)は「患者様相談室」、設備・システム関係は「フロントサービス課」に二分化させました。

「医療情報課」

個人情報保護法の関係で診療情報開示を求められた場合、診療情報管理士の資格を持つ職員が定められたルールと手順に従って対応しています。

中野 小島



味谷

本田

北田

村上

濱田

クローズアップ



手術室・中央材料室の 取り組みについて

手術室・中央材料室
リーダー 中谷 哲也

ベルランド総合病院の手術室では、今年の8月から麻酔科の術前外来時において、手術室のビデオ案内を開始しました。これは、手術を受けられる患者様のほとんどが初めての経験であり、不安や恐怖を少しでも和らげられるようにとの目的からビデオ案内を導入したわけです。手術を受ける患者様が、手術室の入室方法・麻酔の種類等、手術室の中でどのように進行していくのかをイメージしやすいように工夫しています。

～術前ビデオの流れ～

放映時間 約6分 (繰り返し放映)

- 1 手術室入室について
- 2 入室後モニター装着について
- 3 硬膜外麻酔について
- 4 全身麻酔について
- 5 腰椎麻酔について
- 6 手術が終了したら
- 7 スタッフ紹介 (顔写真)

一人でも多くの患者様に安心して手術に臨んでいただくために、手術室での流れがイメージできる説明ビデオを作成。

患者様がテレビの世界や、想像の世界・未知なる世界と思っていた手術を、リアルにイメージ化することで「おまかせします」や「わかりません」といった言動も少なくなりますし、患者様参画の型でともに手術を乗り越えていくのが理想と考えています。

また、案内ビデオの最後にはスタッフ紹介の顔写真も流しています。手術室看護師は、術前外来・術前訪問以外はほぼ手術室内にいますので、患者様とお会いする機会が少ないのが現状です。少しでも顔を覚えていただき、どんなことでも気軽に声をかけていただければ幸いです。

さらに、手術を受ける患者様へ事前配布している手術・麻酔に関する書類も、新しいものへと変更していき、患者様にとってハードルの低い手術室となるようがんばっていきます。





感染制御専門薬剤師
(日本病院薬剤師会)
日本医療薬学会認定薬剤師

薬剤部 リーダー
石田 茂伸



薬剤師の認定制度

近年、薬剤師の世界では多くの専門薬剤師(指導薬剤師、がん専門薬剤師など)の認定制度が開始されています。この背景には、平成18年度からスタートした薬学教育6年制の影響があります。今から5年後には、4年制で学んだ我々が6年制で学んだ新人薬剤師を指導する立場になるので、わたしたち薬剤師それぞれが専門分野を持ち、その資格を取得し、自らの能力を高めようという動きが出てきています。

感染制御専門薬剤師とは

多くの専門薬剤師の1つとして、感染制御専門薬剤師(ICP: infection control pharmacist)があり、その認定は日本病院薬剤師会が行います。認定を申請するには以下のような条件があります。
 ・薬剤師歴が5年以上。
 ・病院施設内の感染対策委員会または感染対策チーム(ICT: infection control team)メンバーとして感染制御対策に関与している。

・認定対象となる講習を所定の単位以上履修していること。

・感染制御・防止対策に関する学会発表を3回以上行っていること。
 ・複数査読制のある学会誌・学術雑誌に感染制御・防止対策に関する論文2編以上の研究歴があること。

・認定試験に合格すること。
 今年で認定制度が始まって2年目となりますが、平成19年6月1日現在、全国で95名(うち近畿地区9名)の感染制御専門薬剤師が活躍しています。

活動状況

最近、黄色ブドウ球菌や緑膿菌など、一般環境に存在する細菌が現在販売されている抗菌薬に対して耐性を示すケースがあり、これらの細菌による院内感染がしばしばニュースでクローズアップされるなど、社会的にも病院内における感染制御対策が問題となつています。

当院においては、感染防止委員会が設置されており、月に一度の定例会議で院内感染制御対策の話し合いが行われ、ICTは病院内における耐性菌の発生状況を確認するために、週に一度病棟内の巡回を実施し指導などを行っています。また、特殊な抗菌薬に対しては、申告制度を導入するなど様々な院内感染対策が実施されています。薬剤師もこのような現場で活躍することが求められてきており、この資格取得を機に、感染制御専門薬剤師としての専門性を生かしたいと思っています。



週に1度ICTが各病棟を巡回

POWER STONE



最近パワーストーンを身に付けてる人が多いけど、なぜ?とお考えの方に!



地域医療連携室
金谷 尚実

パワーストーンとは…

願いを叶えてくれる神秘のパワーがあるとされる石の事で、願いに当てはまる石を持つ事によって、その人の意思に応じてくれ、もともと備えている潜在能力を増幅させてくれます。アクセサリ、置石、ブレスレット、ストラップなどに多く使用されており、一つの物を作る時には、同じ意味の石を合わせて作ると良いとされています。一度試してみてもいいのではないでしょうか?



浄化方法 (1ヶ月に1度位を目安に浄化して下さい)

太陽光

早朝から午前中の日光に10分以上あてます。エネルギーチャージも一緒に出来ますが、一部の色つきの石は退色(石の色が薄くなる)することもあります。

植物

観葉植物など枯れていないものの上に置いてください。殆どの石に適した方法です。

クラスター (結晶の集まり)

水晶やアメジストのクラスターの上に置いて下さい。全ての石に適した方法です。

月光

夜中12時頃までの月光に30分以上あてます。浄化をしたいときには新月の時に、パワーチャージをしたい時は満月の時が効果的です。

インセンス (お香やホワイトセージ)

お香、ホワイトセージ(ハーブの一種)などを焚き、煙にくぐらせて下さい。全ての石に適している方法です。



石の種類



アイオライト

血液の循環を良くする。迷ったときに方針を示す。ダイエットに。



レモンクォーツ

疲労回復に。向上心を高め感情を安定させる。豊かな心を育む。



アパタイト

悩みを解消し前向きにする。健康のお守りに。骨や歯の弱い人に。



ブラックトルマリン

極度のストレスや疲れを取り、身を守ってくれる。電磁波防止に。

誕生石一覧

1月	ガーネット	貞節・友愛・忠実	7月	ルビー	情熱・仁愛・威厳
2月	アメジスト	誠実・心の平和	8月	サードオニキス	夫婦の幸福・和合
3月	アクアマリン	沈着・勇敢・聡明	9月	サファイア	慈愛・誠実・威厳
4月	ダイヤモンド	清浄無垢	10月	オパール	安楽
5月	エメラルド	幸運	11月	トパーズ	友愛・希望
6月	ムーンストーン	健康・長寿・富	12月	トルコ石	成功

交通のご案内

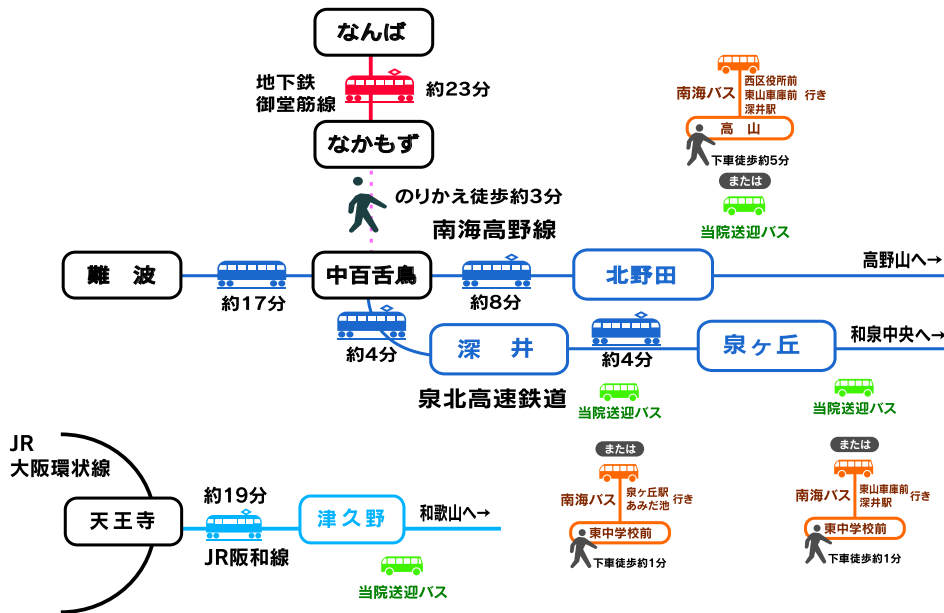
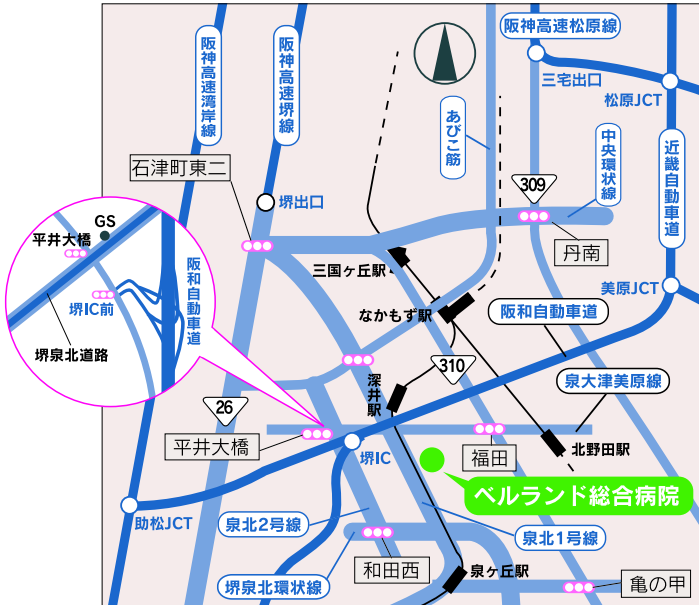
▼大阪方面から：泉北1号線深井駅北より側道へ入る。2個めの信号（東山西）を左折、つぎの東山交差点を右折して直進。

▼南大阪方面から：泉北1号線泉ヶ丘駅付近をすぎて、堺泉北環状線方面の側道に入る。

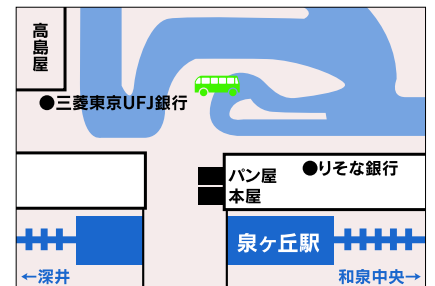
田園大橋西詰交差点から側道の2個めの信号を右折、突き当りの交差点を左折して直進。

▼阪和自動車道から：堺IC堺出口を右折。平井大橋交差点を右折して約2kmの馬飼田池東交差点を右折約1km。

▼阪神高速湾岸線から：助松JCTより堺泉北有料道路へ入る。平井（深井方面）出口から約2kmの馬飼田池東交差点を右折約1km。



■泉ヶ丘駅の当院送迎バス乗り場のご案内

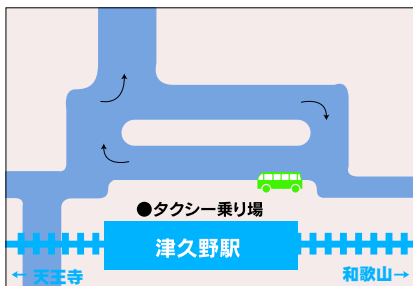


【泉ヶ丘駅発→ベルランド総合病院行き】
 7:30～13:45まで毎時00・15・30・45分発
 14:00～19:30まで毎時00・30分発

【ベルランド総合病院発→泉ヶ丘駅行き】
 7:20～13:50まで毎時05・20・35・50分発
 14:20～19:20まで毎時20・50分発

※南海バス（東山車庫前・深井駅行き）バスは、1時間あたり約2本出発

■津久野駅の当院送迎バス乗り場のご案内



【津久野駅発 ベルランド総合病院行き】

10:15・13:15・15:15

【ベルランド総合病院発→津久野駅行き】

10:00・13:00・15:00

■深井駅の当院送迎バス乗り場のご案内



【深井駅発→ベルランド総合病院行き】

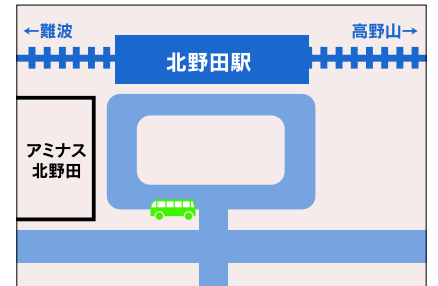
10:30・13:30・15:30

【ベルランド総合病院発→深井駅行き】

10:00・13:00・15:00

※南海バス（泉ヶ丘駅・あみだ池行き）バスは1時間あたり約4本出発

■北野田駅の当院送迎バス乗り場のご案内



【北野田駅発→ベルランド総合病院行き】

9:05・11:20・14:20・16:20

【ベルランド総合病院発→北野田駅行き】

8:45・11:00・14:00・16:00

※南海バス（西区役所前・東山車庫前・深井駅行き）バスは、1時間あたり約3本出発

Bell Letter

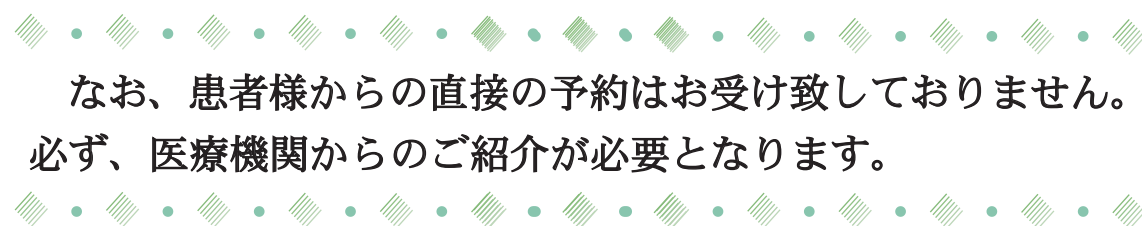
地域医療連携室では、

- ①診察・検査の予約
- ②入院の受け入れ
- ③診療情報提供書の返信チェック
- ④当院からの逆紹介

等の業務を行っています。

①②に関しましては、医師への確認・院内調整を行い、予約票（来院日時）を作成しFAXにてご報告いたします。

その他、ご依頼等がございましたら、お気軽にお問合せ下さい。



なお、患者様からの直接の予約はお受け致しておりません。必ず、医療機関からのご紹介が必要となります。



ベルランド総合病院

平日（午前9時～午後8時）・・・地域医療連携室

医療機関様
専用

直通番号：0120-13-9215

FAX：0120-53-0096

休日・平日時間外（午後8時～午前9時）・・・救急室

代表番号：072-234-2001

FAX：072-234-9124

ホームページ <http://www.seichokai.or.jp/>